

さん ぶんたい もんだいえんしゅう
三文体リライト-問題演習

→ [講義](#) レジスターの基本 [lecture](#) [english](#) [register](#)
<https://study.bem130.com/lecture/english/register/レジスターの基本-講義/>

→ [定石集](#) ジャンル別文体ガイド [reference](#) [english](#) [register-guide](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/register-guide/ジャンル別文体ガイド-定石集/>

1 実施方針

各問題では、同一の内容を会話、事務、学術の3文体へ展開する。ここで確認すべきなのは語彙の硬軟だけではない。主節をどこに置くか、背景情報をどこまで圧縮するか、断定をどの程度弱めるかも同時に設計する。

2 問題 1

日本語: 結論を先に言うと、今回は採用を見送る方針である。

2.1 ヒント

会話では反応を短くし、事務では判断内容を明示し、学術では制度的な決定として距離を取る。

2.2 解答例

Display

会話

To give you the short version, we are going to pass on it this time.

事務

To state the conclusion first, we have decided not to proceed with the appointment this time.

学術

To state the conclusion at the outset, the current application will not be approved at this stage.

2.3 解説

主問題は REG である。会話では the short version と pass on it が自然であるのに対し、事務では have decided not to proceed with … のように判断を明示する必要がある。学術では主体を後退させ、制度的な処理として表現する。

2.4 よくある誤り あやま

- [REG]: 3 文体すべてで cancel を使い、語気の差が消える ぶんたい
- [CLS]: 学術でも会話と同じ骨格を維持し、距離感が出ない がくじゅつ

3 問題 2 もんだい

日本語: 必要資料がまだ不足しているので、手続きを開始できない。 にほんご

3.1 ヒント

会話は事情説明、事務は処理条件、学術は要件充足の観点で構成する。 かいわ

3.2 解答例 かいとうれい

Display

会話 かいわ

We still do not have everything we need, so we cannot get started yet.

事務 じむ

Because some of the required documents are still missing, we cannot begin the procedure at this time.

学術 がくじゅつ

As the required documentation has not yet been fully submitted, the review process cannot be initiated.

3.3 解説 かいせつ

主問題は REG と CLS である。会話では everything we need のような包括的な塊が自然である。事務では required documents と begin the procedure を固定し、学術では documentation、review process、be initiated によって名詞中心の構成へ移行する。 しゅもんだい

3.4 よくある誤り あやま

- [REG]: 会話でも required documentation を用いて硬くなりすぎる かいわ
- [COL]: start the formalities のような不安定な結合を作る ふあんてい

4 問題 3 もんだい

日本語: この結果は、対象の条件に応じて方法を選択する必要性を示している。 にほんご

4.1 ヒント

会話では専門性を少し落とし、事務では説明責任、学術では慎重化を優先する。

4.2 解答例

Display

会話

This shows that we need to choose the method depending on the situation.

事務

These results indicate that the method should be selected according to the conditions involved.

学術

These findings suggest the need to select the method in accordance with the conditions of the target.

4.3 解説

主問題は REG であり、学術では CLS も関与する。会話は depending on the situation のように平明化し、事務は should be selected according to … により説明文として安定させる。学術では suggest the need to … により主張を慎重に提示する。

4.4 よくある誤り

- [REG]: 学術でも This shows that we need to … とし、主張が直截すぎる
- [CLS]: 事務・学術で背景句と主節の重心が曖昧になる

5 問題 4

日本語: 調査はまだ途中だが、現時点では一定の改善が確認されている。

5.1 ヒント

会話では途中報告として柔らかく、事務では進捗報告として明瞭に、学術では限定を明示する。

5.2 解答例

Display

会話

We are still in the middle of the survey, but we are already seeing some improvement.

じむ
事務

Although the survey is still ongoing, a certain degree of improvement has been confirmed at this stage.

がくじゅつ
學術

Although the survey remains in progress, a measurable degree of improvement has been observed at the present stage.

5.3 かいせつ
解説

しゅもんだい 主問題は REG と TNS である。かいわ 会話では we are already seeing … が進行中の しんこうちゆう 感覚に かんかく 合致する。がっち 事務では has been confirmed、がくじゅつ 學術では has been observed を用いて もち 客観化することで きょりかん 距離感を たも 保つ。

5.4 あやま
よくある誤り

- [TNS]: ぶんたい 3 文体すべてを たんじゅんかこ 単純過去で しより 処理し、げんじてん 現時点との せつぞく 接続が よわ 弱くなる
- [REG]: かいわ 会話でも a measurable degree of improvement とし かど 過度に かた 硬くする

もんだい
6 問題 5

にほんご 日本語: いぜん 以前の方式では ほうしき 対応し たいおう きれなかったため、あた 新しい きじゆん 基準の どうにゆう 導入が ひつよう 必要になった。

6.1 ヒント

かいわ 会話では じじようせつめい 事情説明を たんしゆく 短縮し、じむ 事務では けいせいせつめい 経緯説明として せいれつ 整理し、がくじゅつ 學術では せいどへんこう 制度変更を ちゆうりつてき 中立的に じょじゅつ 叙述する。

6.2 かいとうれい
解答例

Display

かいわ
会話

The old system was no longer enough, so we had to bring in a new standard.

じむ
事務

Because the previous system was no longer able to handle the situation adequately, it became necessary to introduce a new standard.

がくじゅつ
學術

As the previous framework was insufficient to address the issue, the introduction of a new criterion became necessary.

6.3 解説

主問題は REG と COL である。会話では was no longer enough と bring in が自然である。事務では able to handle the situation adequately として処理能力を明示し、学術では framework、criterion、address the issue のような抽象度の高い語彙へ移行する。

6.4 よくある誤り

- [COL]: 3 文体すべてで cope with it を用い、抽象度の差が失われる
- [REG]: 学術でも会話と同じ bring in を維持する

7 関連リンク

→ 講義 レジスターの基本 [lecture](#) [english](#) [register](#)
<https://study.bem130.com/lecture/english/register/レジスターの基本-講義/>

→ 定石集 ジャンル別文体ガイド [reference](#) [english](#) [register-guide](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/register-guide/ジャンル別文体ガイド-定石集/>

→ 講義 学術論説の型 [lecture](#) [english](#) [register](#)
<https://study.bem130.com/lecture/english/register/学術論説の型-講義/>

→ 講義 定型句と語彙バンドル [lecture](#) [english](#) [collocation](#)
<https://study.bem130.com/lecture/english/collocation/定型句と語彙バンドル-講義/>

→ 問題演習 レジスター変換 [exercise](#) [english](#) [register](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/register/レジスター変換-問題演習/>